※当レポートは株式会社フィスコが目論見書および会社発表業績予想を要約し、類似企業はフィスコが選択したものです

HiJoJo Partners
657A・100株
11月20日
東証グロース上場

海外ユニコーン投資で独自の事業モデル

国内外のユニコーン企業など成長段階の非上場企業への投資機会を提供するアセットマネジメント事業を展開。主力の「ファンド募集事業」では、原則1ファンド1銘柄のファンドを組成・運用する。海外のベンチャーキャピタルなどとのネットワークを通じて投資案件を発掘し、同社独自のチャネルに加え、金融機関や独立系ファイナンシャルアドバイザー（IFA）との提携も活用して対面・インターネットで販売する。

SpaceXやOpenAIなど著名な海外ユニコーン企業への投資機会を提供する事業は特色があり、投資家の関心を集めそうだ。一方、金利上昇に伴う非上場成長企業の評価額への影響懸念、足元の株式市場の地合いなどが重しになる。

■IPOスケジュールと類似企業バリュエーション

日程	
仮条件提示	11月4日
ブックビルディング期間	11月5日～11月11日
公開価格決定	11月12日
申込期間	11月13日～11月18日
払込日	11月19日
上場日	11月20日

類似会社3社	
インテグラル<5842>	11.2倍(連)
マーキュリア<7347>	15.0倍(連)
JAFCO<8595>	11.3倍

（PERは10月30日終値の会社側予想ベース）

HiJoJo Partners
657A・100株
11月20日
東証グロース上場

業績推移　（百万円・％）						
決算期	売上高	伸び率	経常損益	伸び率	純損益	伸び率
2022/10 単	645	-28.9%	51	-88.2%	33	-91.7%
2023/10 単	388	-39.8%	▲ 253	－	▲ 256	－
2024/10 単	672	73.0%	6	－	15	－
2025/10 単	1,758	161.6%	686	－	513	3261.4%
2026/10 連予	3,499	(99.0%)	1,861	(171.0%)	1,185	(130.8%)
2026/4 2Q 連	2,636	－	1,698	－	1,158	－
2026/7 3Q 連	2,905	－	1,688	－	1,145	－
予想EPS／配当	単独：22.71円／0.00円 ※予想EPSは上場時発行済株式数で試算					

■業績コメント

2026年10月期の業績は、売上高が34.9億円、経常利益が18.6億円となる見通し。なお、2026年10月期第2四半期から連結決算へ移行しており、前期の非連結業績との比較では、売上高が前期比99.0%増、経常利益が同2.7倍となる。

主力のファンド募集事業では、人工知能（AI）関連企業やSpaceXを最終投資対象とするファンドの販売が好調に推移。ファンド組成数は前期の12本から15本、販売額は同約2.5倍の223.4億円へ拡大する見込み。売上高の内訳は、成功報酬が20.1億円、申込手数料が8.1億円、運用報酬等が5.2億円を計画しており、特に投資先有価証券の売却に伴う成功報酬の増加が業績を押し上げる。なお、成功報酬は投資先の上場時期や株式売却のタイミングなどに左右されるため、期間損益が変動しやすい点には留意が必要である。

2026年10月期第3四半期累計期間の売上高は29.0億円、経常利益は16.8億円となり、通期計画に対する進捗率はそれぞれ83.0%、90.7%となった。なお、2027年10月期以降については、投資先の上場・売却時期などによる業績変動が大きく、新規事業の収益貢献も見通しにくいことから、期初時点での業績予想は開示しない方針としている。

HiJoJo Partners
657A・100株
11月20日
東証グロース上場

基本概要	
所在地	東京都港区西新橋一丁目7番2号
代表者名 （生年月日）	代表取締役共同社長執行役員　メンザス・スピリドン（昭和48年10月3日生） 代表取締役共同社長執行役員 秋山 典文（昭和41年6月22日生）
設立	平成29年11月15日
資本金	1億円（令和8年10月26日現在）
従業員数	新規上場会社39人 連結会社40人（令和8年9月30日現在）
発行済株式数 （上場時）	52,185,540株（予定）
公開株式数	公　募　5,405,400　株　　売　出　3,603,600　株 （オーバーアロットメントによる売出1,351,300株）
想定公開規模	53.9億円～57.5億円（ＯＡ含む）
事業内容	スタートアップ企業投資及び組入れファンド販売等

売上高構成比率 （ 2025/10期 実績 ）				
品目	金額		比率	
ファンド手数料収入	854	百万円	48.6	%
ファンド成功報酬	853	百万円	48.6	%
その他報酬	49	百万円	2.8	%
合　計	1,758	百万円	100.0	%

幹事証券団 （ 予定 ）			
	証券会社名	引受株数	引受シェア
主幹事証券	みずほ証券(株)	未定	未定
主幹事証券	SMBC日興証券(株)	未定	未定
幹事証券	(株)SBI証券	未定	未定
幹事証券	JIA証券 (株)	未定	未定
幹事証券	マネックス証券 (株)	未定	未定
幹事証券	三菱UFJモルガン・スタンレー証券 (株)	未定	未定
幹事証券	岡三証券 (株)	未定	未定
幹事証券	野村證券 (株)	未定	未定
幹事証券	あかつき証券 (株)	未定	未定
幹事証券	東海東京証券 (株)	未定	未定
幹事証券	楽天証券 (株)	未定	未定
幹事証券	松井証券(株)	未定	未定
幹事証券	極東証券(株)	未定	未定
幹事証券	水戸証券(株)	未定	未定

その他情報		
手取金の使途	US事業及びPEIT事業の立上げ並びに事業展開に係る資金に充当する予定	
関係会社	HiJoJo Holding Company Inc.　(連結子会社)　持株会社 HiJoJo Management Company Inc.　(連結子会社)　投資運用事業 HiJoJo Investing Company LLC　(連結子会社)　投資事業 HiJoJo US Fund1 LLC　(連結子会社)　米国第1号ファンド	
VC売却可能分（推定）	7社　2,670,406株（売出し・保有期間などの制限があるもの以外）	
直近有償第三者割当	年月日	2026年2月19日
	割当先	SMBC事業開発4号投資事業有限責任組合、David Heller、香山春明
	発行価格	413円

大株主上位10者とロックアップ

株主名	株比率	ロックアップ
メンザス・スピリドン（社長）	40.3%	360日間
濱田 智彦	8.64%	約7か月間
杉浦 英和	8.64%	約7か月間
（株）クレディセゾン	4.92%	180日間 1.5倍
秋山 典文	4.8%	180日間
みずほ証券（株）	3%	180日間 1.5倍
（株）エムティーアイ	2.46%	180日間 1.5倍
（株）Finatextホールディングス	2.46%	180日間 1.5倍
谷家 衛	2.46%	
SBI Ventures Two（株）	1.12%	

HiJoJo Partners
657A・100株
11月20日
東証グロース上場

■銘柄紹介

2017年11月、東京都港区にHiJoJo.com(株)を設立。2018年1月に現社名へ商号変更した。また、2024年8月には米Nasdaq Private Marketと資本業務提携を発表。2026年2月に米国拠点を設立した。同社グループは、国内外の未上場成長企業への投資機会を国内投資家に提供するアセットマネジメント事業を展開する。事業は「アセットマネジメント事業」の単一セグメント。

主力のファンド募集事業では、国内外のユニコーン企業を中心に、ミドル・レイトステージの未上場企業を投資対象とする。投資家が投資先企業の事業内容や成長可能性を把握しやすいことから、主に1ファンドにつき1銘柄のクローズドエンド型ファンドを組成・運用する。投資対象にはSpaceXやOpenAI、Anthropicなど、企業評価額が100億米ドル以上の非上場企業も含まれる。収益は、ファンド販売時に受領する申込手数料、運用期間中に継続的に発生する運用報酬等、投資先株式の売却益などに応じて発生する成功報酬で構成される。申込手数料は出資額の1.0～4.4%程度、運用報酬等は年1.1～2.8%程度、成功報酬は投資元本を控除した処分収益の22%程度を基本としている。

同社の強みは、海外の非上場株式市場における投資案件の獲得力と、国内の富裕層向け販売ネットワークにある。海外のベンチャーキャピタルや投資ファンドとの関係を通じて投資案件を発掘するほか、投資先候補企業への直接的なアプローチなども行う。2024年には米国の非上場株式取引市場を運営するNasdaq Private Marketと資本業務提携を締結し、投資案件へのアクセス強化を図っている。販売面では、提携金融機関や独立系ファイナンシャルアドバイザー(IFA)を通じた顧客紹介、自社営業による対面販売に加え、インターネットを通じたファンド販売も展開。対面チャネルでは主に金融資産1億円以上、インターネットチャネルでは同3,000万円以上の投資家を対象としている。

成長戦略では、既存のファンド募集事業に加え、US事業、PEIT事業、PMS事業の3つの新規事業を推進する。US事業では、米国子会社が未上場株式を先行取得・保有し、国内ファンドなどへ移転する仕組みを構築。ファンド組成前に投資案件を確保することで、投資機会の逸失を防ぐ。さらに、海外投資家へアプローチし販売拡大を目指す。PEIT事業では、グローバル非上場株式を主な投資対象とする「HiJoJoグローバルユニコーン投資法人」を設立し、私募による運用を経て東京証券取引所ベンチャーファンド市場への上場を目指す方針。PMS事業では、2026年8月に第一種金融商品取引業(非上場有価証券特例仲介等業務)の登録を完了し、未上場企業の資金調達支援や非上場株式の売買仲介などへ事業領域を広げる。

2026年9月末時点で、累計契約総額は751億円を突破、累計顧客数は対面チャネルが1,418名、インターネットチャネルが9,735名となっている。また、2026年6月末時点で、運用中ファンドの契約総額は約462億円、参考価格に基づく評価総額は約1,070億円、未実現成功報酬は約154億円に達する。ただし、参考価格に基づく評価総額、及び未実現成功報酬は、外部機関による評価額に基づく数値であり、将来の売却による収益実現が確約されているものではない。

免責事項（ディスクレーマー）

株式会社フィスコ(以下「フィスコ」という)は株価情報および指数情報の利用について東京証券取引所・大阪取引所・日本経済新聞社の承諾のもと提供しています。
本レポートは、あくまで情報提供を目的としたものであり、投資その他の行為および行動を勧誘するものではありません。
本レポートはフィスコが信頼できると判断した情報をもとにフィスコが作成・表示したものですが、フィスコは本レポートの内容および当該情報の正確性、完全性、的確性、信頼性等について、いかなる保証をするものではありません。
本レポートに掲載されている発行体の有価証券、通貨、商品、有価証券その他の金融商品は、企業の活動内容、経済政策や世界情勢などの影響により、その価値を増大または減少することもあり、価値を失う場合があります。本レポートは将来のいかなる結果をお約束するものでもありません。お客様が本レポートおよび本レポートに記載の情報をいかなる目的で使用する場合においても、お客様の判断と責任において使用するものであり、使用の結果として、お客様になんらかの損害が発生した場合でも、フィスコは、理由のいかんを問わず、いかなる責任も負いません。また、本レポートに掲載されている発行体と当社（IRコンサル部）は現在または将来において、（アナリストレポートの作成や動画配信、IRコンサルティングサービスなどの）有償の取引を行っている/行う場合がございます。
本レポートに記載された内容は、本レポート作成時点におけるものであり、予告なく変更される場合があります。フィスコは本レポートを更新する義務を負いません。
本文およびデータ等の著作権を含む知的所有権はフィスコに帰属し、フィスコに無断で本レポートおよびその複製物を修正･加工、複製、送信、配布等することは堅く禁じられています。
フィスコおよび関連会社ならびにそれらの取締役、役員、従業員は、本レポートに掲載されている金融商品または発行体の証券について、売買等の取引、保有を行っているまたは行う場合があります。
以上の点をご了承の上、ご利用ください。

■お問い合わせ■
〒107-0062 東京都港区南青山五丁目13 番3 号
株式会社フィスコ
電話：03-5774-2443（情報配信部） メールアドレス：support@fisco.co.jp